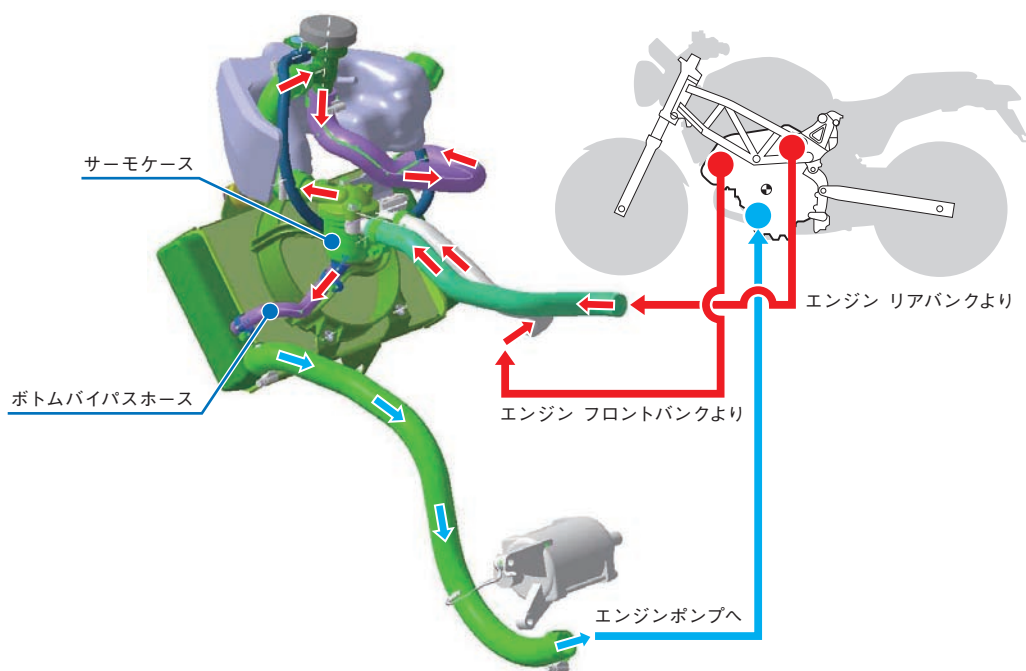


冷却系

冷却系の通路にはサーモケースボトムバイパスを採用。これによりエンジン全体をより素早く適切な温度に上昇・維持させ、暖機性能の向上や寒冷時の低負荷走行でのドライバビリティーを確保。また、触媒装置(キャタライザー)の早期活性化を図ることで性能を安定化させ、エミッション性能を高め環境に貢献します。

サーモケースボトムバイパス



排気系

排気系は、新たに2つの触媒装置(キャタライザー)を装備。プリキャタライザーをエキゾーストパイプの集合後に、メインキャタライザーをマフラー内に搭載しています。スロットルリニアリティー向上のために形状の見直しを行ったエキゾーストパイプ集合部には、新たにO₂センサーを装着し、排出ガス中の酸素濃度を検出することで、燃焼が理論空燃費で行われているか監視し、燃料噴射量をコントロールするためのフィードバックを行います。

また、キャタライザーの装備に伴いステンレス材を採用したマフラーは全長とテールパイプを延長し、パーシャル域の出力向上と高周波音の低減に寄与しています。これらの機能を併せ持ったチャンバーレス構造 2 into 1マフラーは、PGM-FIとの相乗効果によって、平成18年国内排出ガス規制をクリアするとともに、心地よいエキゾーストノートを演出しています。

キャタライザー & O₂センサー配置図

